

(H26グループ化:すいか)

平成26年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

(試験期間 26年5月 ～ 26年7月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型

- ①プロピネブ(アントラコール)顆粒水和剤
②BPMC (バッサ) 乳剤
③クロチアニジン(ダントツ)水溶液
④MEP(スミチオン)乳剤
⑤PAP(エルサン) 乳剤
⑥EPN(EPN)乳剤
⑦ダイアジノン(ダイアジノン)乳剤
⑧アセタミプリド(モスピラン)顆粒水溶液
⑨エトフェンプロックス(トレボン)乳剤
⑩ピリダベン(サンマイト)フロアブル
⑪テトラジホン(テデオン)乳剤
⑫ニテンピラム(ベストガード)水溶液
⑬トリフルミゾール(トリフミン)水和剤
⑭ベノミル(ペンレート)水和剤
⑮イミノクタジンアルベシル酸塩(ベルコート)水和剤

(2) 有効成分名及び成分含有率

- | | |
|-----------------|------|
| ①プロピネブ | 70% |
| ②BPMC | 50% |
| ③クロチアニジン | 16% |
| ④MEP | 50% |
| ⑤PAP | 50% |
| ⑥EPN | 45% |
| ⑦ダイアジノン | 40% |
| ⑧アセタミプリド | 20% |
| ⑨エトフェンプロックス | 20% |
| ⑩ピリダベン | 20% |
| ⑪テトラジホン | 8.0% |
| ⑫ニテンピラム | 10% |
| ⑬トリフルミゾール | 30% |
| ⑭ベノミル | 50% |
| ⑮イミノクタジンアルベシル酸塩 | 40% |

(3) 被験物質のLot No.

- | | | |
|-------------------|------------------|------------------|
| ①16.10 PD14B00002 | ②17.10 4225N | ③18.10 EJA059 |
| ④18.10 3Z26N | ⑤17.10 HCB001 | ⑥18.10 HCK027 |
| ⑦15.10 C2H04 | ⑧17.10 HCJ-013SN | ⑨17.10 R4Y01 |
| ⑩17.10-OCG523 | ⑪18-10 25001 | ⑫16.10 KJA244 |
| ⑬16.10 749888 | ⑭17.10 EAA012 | ⑮15.10 HAB-096SM |

2. 農作物名

すいか 品種名 愛娘

3. 試験実施機関名

一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地

茨城県牛久市結束町535番地

4. 試験責任者氏名

森田久孝, 皆川保雄, 森田恭充, 増尾重治, 橋本龍治, 柑本俊樹, 川北充彦
後藤直人, 丸山直哉, 有波友紀

5. 土性

砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙1〜3に記載。

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トナリ栽培の被覆時期を記載す

露地・施設の別

施設(ガラスハウス)

有益・無袋の別

—

播種:平成26年4月11日、定植:5月16日、地這い栽培

栽植密度:畝間210cm、株間60cm、1条植え、3本仕立て(マルチ被覆)、約794株/10a

施肥(10a当たり):4月18日堆肥 1000kg、菜つとく有機(10-7-5) 20kg・過石(0-17.5-0) 51kg、

硫加(0-0-50) 8kg、6月27日くみあい尿素複合肥 400倍

その他の管理は、慣行に従った。

収穫適期:7月中旬〜7月下旬

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

チラム・ベノミル(種子消毒)、キノドール40水和剤800倍・トキシンフロアブル800倍・ジマンタインセン水和剤600倍・

アトマイヤー水和剤1000倍(以上購入苗に処理済み)

5月23日アトマイヤー顆粒水和剤10000倍・粘着くん液剤100倍

6月13日コロマト乳剤1000倍・アトマイヤー顆粒水和剤5000倍・ダコニール1000 1000倍

6月26日スピノース顆粒水和剤5000倍・アトマイヤー顆粒水和剤5000倍

7月9日アトマイヤー水和剤2000倍・アフーム乳剤2000倍・モレスタン水和剤3000倍

10. 試験区

(1) 試験区の面積および(株)数

処理区A:45.4㎡(2.1m×21.6m×1畝) 36株、処理区B:45.4㎡(2.1m×21.6m×1畝) 36株

処理区C:21.4㎡(2.1m×10.2m×1畝) 17株、処理区D:45.4㎡(2.1m×21.6m×1畝) 36株

処理区E:21.4㎡(2.1m×10.2m×1畝) 17株、処理区F:45.4㎡(2.1m×21.6m×1畝) 36株

無処理区G:18.9㎡(2.1m×9.0m×1畝) 15株

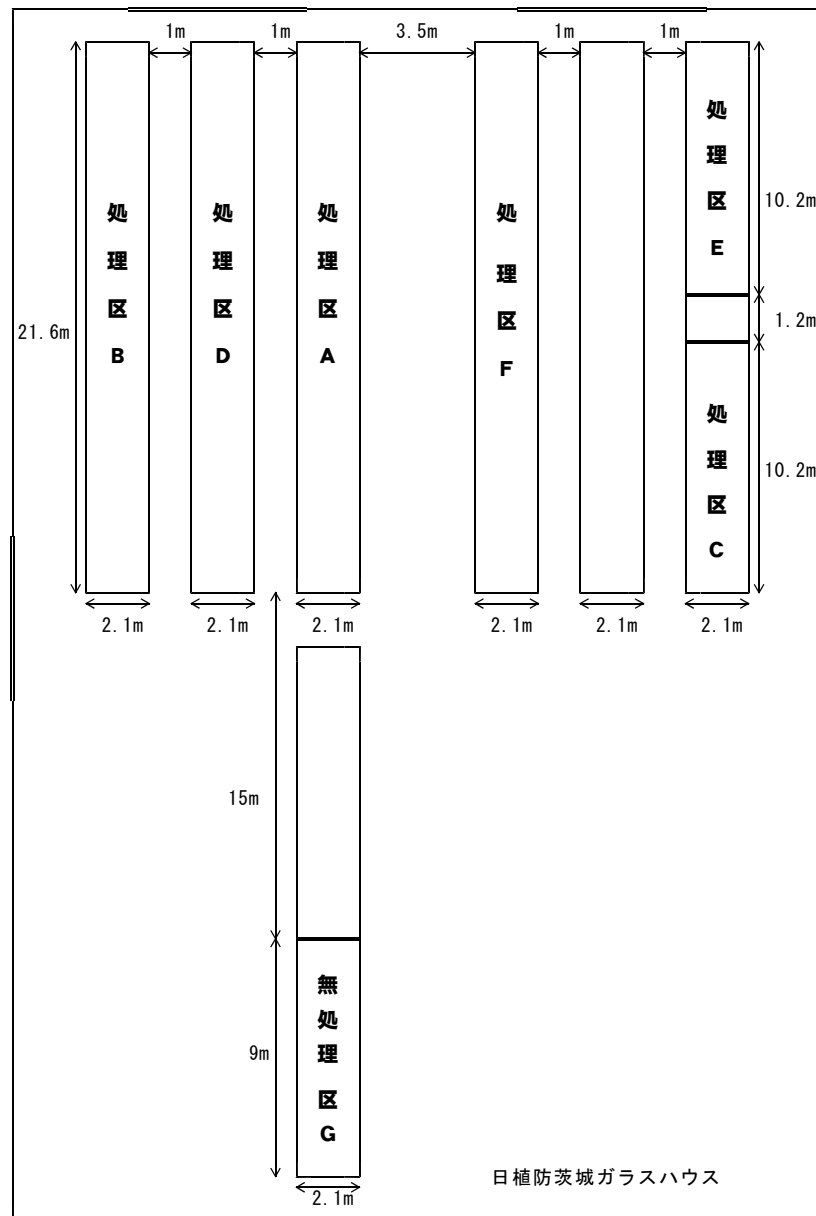
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

面積:874㎡、高さ:4.0m

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区の間距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）	
									1 0 a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量			
H26年6月23日	アントラコール							無処理	400倍	247L	28.0g/11.2L/45.4㎡	35.0g/14L	果実肥大期 (草丈約20cm)	茎 葉 散 布
6月30日	アントラコール								400倍	247L	28.0g/11.2L/45.4㎡	37.5g/15L	果実肥大期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
	バッサ							1500倍	7.5ml/11.2L/45.4㎡		10.0ml/15L			
	ダントツ							2000倍	5.6g/11.2L/45.4㎡		7.5g/15L			
7月 7日	アントラコール								400倍	267L	30.2g/12.1L/45.4㎡	37.5g/15L	果実成熟期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
	バッサ							1500倍	8.1ml/12.1L/45.4㎡		10.0ml/15L			
	ダントツ							2000倍	6.0g/12.1L/45.4㎡		7.5g/15L			
7月14日	アントラコール								400倍	267L	30.2g/12.1L/45.4㎡	37.5g/15L	収穫期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
	バッサ							1500倍	8.1ml/12.1L/45.4㎡		10.0ml/15L			
	ダントツ							2000倍	6.0g/12.1L/45.4㎡		7.5g/15L			

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
				時刻	天候
H26年6月23日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB111） ノズル：1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル） 散布方法：試験区を分割し、1区画を一定の時間で歩行して全体へ均一に散布した。			時刻 15：45 ～ 16：01	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日				時刻 15：55 ～ 16：11	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日				時刻 11：25 ～ 11：42	天候：雨（雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日				時刻 14：20 ～ 14：37	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、無処理区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
6月30日、7月7日、7月14日は、3薬剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月 2日		E P N					無処理	1000倍	207L	9. 4ml/9. 4L/45. 4㎡	16. 0ml/16L	茎葉伸長期 （草丈約20cm）	茎 葉 散 布
6月 9日		スミチオン						700倍	207L	13. 4ml/9. 4L/45. 4㎡	20. 0ml/14L	茎葉伸長期 （草丈約20cm）	茎葉散布（混用）
		E P N						1000倍		9. 4ml/9. 4L/45. 4㎡	14. 0ml/14L		
6月16日		スミチオン						700倍	225L	14. 6ml/10. 2L/45. 4㎡	20. 0ml/14L	茎葉伸長期 （草丈約20cm）	茎葉散布（混用）
		E P N						1000倍		10. 2ml/10. 2L/45. 4㎡	14. 0ml/14L		
6月23日		スミチオン						700倍	247L	16. 0ml/11. 2L/45. 4㎡	20. 0ml/14L	果実肥大期 （草丈約20cm）	茎葉散布（混用）
		E P N						1000倍		11. 2ml/11. 2L/45. 4㎡	14. 0ml/14L		
		ダイアジノン						700倍		16. 0ml/11. 2L/45. 4㎡	20. 0ml/14L		
6月30日		スミチオン						700倍	247L	16. 0ml/11. 2L/45. 4㎡	20. 0ml/14L	果実肥大期 （草丈約35cm）	茎葉散布（混用）
		エルサン						1000倍		11. 2ml/11. 2L/45. 4㎡	14. 0ml/14L		
		ダイアジノン						700倍		16. 0ml/11. 2L/45. 4㎡	20. 0ml/14L		
7月 7日		スミチオン						700倍	267L	17. 3ml/12. 1L/45. 4㎡	20. 0ml/14L	果実成熟期 （草丈約35cm）	茎葉散布（混用）
		エルサン						1000倍		12. 1ml/12. 1L/45. 4㎡	14. 0ml/14L		
		ダイアジノン						700倍		17. 3ml/12. 1L/45. 4㎡	20. 0ml/14L		
7月14日		スミチオン						700倍	267L	17. 3ml/12. 1L/45. 4㎡	20. 0ml/14L	収穫期 （草丈約35cm）	茎葉散布（混用）
		エルサン						1000倍		12. 1ml/12. 1L/45. 4㎡	14. 0ml/14L		
		ダイアジノン						700倍		17. 3ml/12. 1L/45. 4㎡	20. 0ml/14L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年6月 2日	散布機 ： 背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB111） ノズル ： 1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル） 散布方法：試験区を分割し、1区画を一定の時間で歩行して全体へ均一に散布した。		時刻 15：50 ～ 16：04	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月 9日			時刻 14：00 ～ 14：14	天候：雨（日中雨）、風の影響なし。
6月16日			時刻 11：10 ～ 11：25	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月23日			時刻 16：15 ～ 16：31	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日			時刻 15：50 ～ 16：06	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日			時刻 10：50 ～ 11：07	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日			時刻 14：50 ～ 15：07	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、無処理区と同薬剤を使用するC区との間を、高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
6月9日、6月16日、6月23日、6月30日、7月7日および7月14日は、いずれも3薬剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年5月26日			E P N				無処理	1000倍	206L	4.4ml/4.4L/21.4㎡	5.0ml/5L	茎葉伸長期 (草丈約15cm)	茎 葉 散 布
6月 2日			E P N					1000倍	206L	4.4ml/4.4L/21.4㎡	16.0ml/16L	茎葉伸長期 (草丈約20cm)	茎 葉 散 布
6月 9日			E P N					1000倍	206L	4.4ml/4.4L/21.4㎡	5.0ml/5L	茎葉伸長期 (草丈約20cm)	茎 葉 散 布
6月16日			E P N					1000倍	224L	4.8ml/4.8L/21.4㎡	7.0ml/7L	茎葉伸長期 (草丈約20cm)	茎葉散布（混用）
			ダイアジノン					700倍		6.9ml/4.8L/21.4㎡	10.0ml/7L		
6月23日			ダイアジノン					700倍	248L	7.6ml/5.3L/21.4㎡	10.0ml/7L	果実肥大期 (草丈約20cm)	茎 葉 散 布
6月30日			ダイアジノン					700倍	248L	7.6ml/5.3L/21.4㎡	10.0ml/7L	果実肥大期 (草丈約35cm)	茎 葉 散 布
7月 7日			ダイアジノン					700倍	266L	8.1ml/5.7L/21.4㎡	10.0ml/7L	果実成熟期 (草丈約35cm)	茎 葉 散 布

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
			特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年5月26日	散布機 ：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB111） ノズル ：1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル） 散布方法：試験区を分割し、1区画を一定の時間で歩行して全体へ均一に散布した。		時刻 14：55 ～ 15：02	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
6月 2日			時刻 16：00 ～ 16：07	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月 9日			時刻 13：30 ～ 13：37	天候：雨（日中雨）、風の影響なし。
6月16日			時刻 10：50 ～ 10：57	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月23日			時刻 15：45 ～ 15：53	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日			時刻 15：20 ～ 15：28	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日			時刻 9：50 ～ 9：58	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、無処理区と、同薬剤を使用するB区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
6月16日は、2薬剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月30日				モスビラン				2000倍	247L	5.6g /11.2L/45.4㎡	7.5g /15L	茎葉肥大期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
				トレボン				1000倍		11.2ml/11.2L/45.4㎡	15.0ml/15L		
				ベストガード				1000倍		11.2g /11.2L/45.4㎡	15.0g /15L		
7月 7日				モスビラン				2000倍	267L	6.0g /12.1L/45.4㎡	7.5g /15L	果実成熟期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
				トレボン				1000倍		12.1ml/12.1L/45.4㎡	15.0ml/15L		
				サンマイト				1000倍		12.1ml/12.1L/45.4㎡	15.0ml/15L		
				テデオン				500倍		24.2ml/12.1L/45.4㎡	30.0ml/15L		
				ベストガード				1000倍		12.1g /12.1L/45.4㎡	15.0g /15L		
7月14日				モスビラン				2000倍	267L	6.0g /12.1L/45.4㎡	7.5g /15L	収穫期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
				トレボン				1000倍		12.1ml/12.1L/45.4㎡	15.0ml/15L		
				サンマイト				1000倍		12.1ml/12.1L/45.4㎡	15.0ml/15L		
				テデオン				500倍		24.2ml/12.1L/45.4㎡	30.0ml/15L		
				ベストガード				1000倍		12.1g /12.1L/45.4㎡	15.0g /15L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年6月30日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB111） ノズル：1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル） 散布方法：試験区を分割し、1区画を一定の時間で歩行して全体へ均一に散布した。	時刻 17：00 ～ 17：16	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日		時刻 13：30 ～ 13：47	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日		時刻 15：05 ～ 15：22	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、無処理区と同薬剤を使用するE区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
6月30日は3薬剤、7月7日と7月14日は5薬剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月23日					ベストガード		無処理	1000倍	248L	5.3g /5.3L/21.4㎡	8.0g /8L	果実肥大期 (草丈約20cm)	茎 葉 散 布
6月30日					テデオン			500倍	248L	10.6ml/5.3L/21.4㎡	16.0ml/8L	果実肥大期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
					ベストガード			1000倍		5.3g /5.3L/21.4㎡	8.0g /8L		
7月 7日					テデオン			500倍	266L	11.4ml/5.7L/21.4㎡	16.0ml/8L	果実成熟期 (草丈約35cm)	茎葉散布（混用）
					ベストガード			1000倍		5.7g /5.7L/21.4㎡	8.0g /8L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年6月23日	散布機 ：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB111） ノズル ：1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル） 散布方法：試験区を分割し、1区画を一定の時間で歩行して全体へ均一に散布した。	時刻 16：50 ～ 16：58	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日		時刻 17：25 ～ 17：33	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日		時刻 14：10 ～ 14：18	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

試験薬剤の散布時には、無処理区と同薬剤を使用するD区との間を、高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
6月30日と7月7日は、それぞれ2薬剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H26年6月16日						トリフミン ベンレート	無処理	3000倍 2000倍	225L	3.4g /10.2L/45.4㎡ 5.1g/10.2L/45.4㎡	4.0g/12L 6.0g/12L	茎葉伸長期 （草丈約20cm）	茎葉散布（混用）
6月23日						トリフミン ベンレート		3000倍 2000倍	247L	3.7g/11.2L/45.4㎡ 5.6g/11.2L/45.4㎡	5.0g/15L 7.5g/15L	果実肥大期 （草丈約20cm）	茎葉散布（混用）
						ベルコート		1000倍		11.2g/11.2L/45.4㎡	15.0g/15L		
6月30日						トリフミン ベンレート		3000倍 2000倍	247L	3.7g/11.2L/45.4㎡ 5.6g/11.2L/45.4㎡	5.0g/15L 7.5g/15L	果実肥大期 （草丈約35cm）	茎葉散布（混用）
						ベルコート		1000倍		11.2g/11.2L/45.4㎡	15.0g/15L		
7月 7日						トリフミン ベンレート		3000倍 2000倍	267L	4.0g/12.1L/45.4㎡ 6.0g/12.1L/45.4㎡	5.0g/15L 7.5g/15L	果実成熟期 （草丈約35cm）	茎葉散布（混用）
						ベルコート		1000倍		12.1g/12.1L/45.4㎡	15.0g/15L		
7月14日						トリフミン ベンレート		3000倍 2000倍	267L	4.0g/12.1L/45.4㎡ 6.0g/12.1L/45.4㎡	5.0g/15L 7.5g/15L	収穫期 （草丈約35cm）	茎葉散布（混用）
						ベルコート		1000倍		12.1g/12.1L/45.4㎡	15.0g/15L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年6月16日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB111） ノズル：1頭口コーンノズル（丸山製作所 狭角コーンノズル） 散布方法：試験区を分割し、1区画を一定の時間で歩行して全体へ均一に散布した。	時刻 11：40 ～ 11：55	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月23日		時刻 17：05 ～ 17：21	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
6月30日		時刻 16：25 ～ 16：41	天候：晴れ（日中晴れ時々曇り）、風の影響なし。
7月 7日		時刻 11：25 ～ 11：42	天候：雨（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月14日		時刻 14：20 ～ 14：37	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

- （1）展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- （2）備考

試験薬剤の散布時には、無処理区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
6月16日は2薬剤を、その他の日はそれぞれ3薬剤を混用して薬液を作成した。

12. 試料採取（試料番号は試料送付時に「送付カード」（別添様式）に記入したものを記載する）

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
H26.7月15日	A-1					F-1	G (無処理)	G区 時刻：9:35 ～ 9:41 天候：晴れ A区 時刻：10:25 ～ 10:28 天候：晴れ F区 時刻：10:45 ～ 10:48 天候：晴れ	G→A→F	G : 12個／21.0 kg A-1 : 5個／8.4 kg F-1 : 5個／7.7 kg	7月15日
7月17日	A-2	B-1		D-1		F-2		A区 時刻：8:37 ～ 8:41 天候：曇り B区 時刻：9:10 ～ 9:13 天候：曇り D区 時刻：9:30 ～ 9:35 天候：曇り F区 時刻：11:33 ～ 11:38 天候：曇り	A→B→D→F	A-2 : 5個／9.7 kg B-1 : 5個／7.1 kg D-1 : 5個／8.4 kg F-2 : 5個／8.2 kg	7月17日
7月21日	A-3	B-2		D-2		F-3		A区 時刻：8:10 ～ 8:14 天候：曇り B区 時刻：8:35 ～ 8:40 天候：曇り D区 時刻：8:58 ～ 9:00 天候：曇り F区 時刻：9:18 ～ 9:22 天候：曇り	A→B→D→F	A-3 : 5個／9.9 kg B-2 : 5個／9.1 kg D-2 : 5個／10.0 kg F-3 : 5個／8.9 kg	7月21日
7月28日		B-3	C	D-3	E			C区 時刻：9:18 ～ 9:21 天候：晴れ E区 時刻：9:40 ～ 9:43 天候：晴れ B区 時刻：9:58 ～ 10:00 天候：晴れ D区 時刻：10:15 ～ 10:18 天候：晴れ	C→E→B→D	C : 5個／10.6 kg E : 5個／9.5 kg B-3 : 5個／10.4 kg D-3 : 5個／11.0 kg	7月28日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
7月15日	1. 試料の大きさは（やや大きい） ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い） ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
7月17日	1. 試料の大きさは（やや大きい） ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い） ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
7月21日	1. 試料の大きさは（やや大きい） ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い） ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
7月28日	1. 試料の大きさは（やや大きい） ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い） ☒ 通常 やや過熟）3. その他（ ）4. 原因

- (1) 試料採取方法 使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区の境界部（南北）を外した全体から大きさの揃った試料を鉢を用いて採取し、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた。

- (2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻：すりすり等の方法、調製の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した試料は、1個ずつ包装紙で包んでポリ袋に入れ、更にエアクッションで包んだ。それを、包装紙を敷いたダンボール箱（無処理区は1箱3個入りを計4箱、処理区は1箱3個入りと2個入りの2箱）に入れ、裁断した紙を詰めて試料が動かない事を確認し梱包した。

- (3) 試料送付先 分析機関： 株式会社 化学分析コンサルタント

- (4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、 ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日に指定して送付した。
輸送会社等

- (5) 備考 試料に直接触れる作業者は、手袋を着用し、試験区毎に交換した。

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所: 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(ガラスハウス)

観測条件: 気温:平均気温(1 時間毎)

(26年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	施設内気温 (°C)																										23.1	24.2	26.1	26.3	27.4	28.3
6	施設内気温 (°C)	29.3	25.3	25.8	26.3	23.1	21.3	20.7	22.8	23.8	25.1	22.4	22.8	26.3	26.3	26.7	26.9	26.3	23.6	26.1	25.8	26.0	22.6	24.9	23.1	23.5	24.4	25.4	25.0	25.6	25.5	
7	施設内気温 (°C)	27.1	26.8	25.9	23.0	23.1	25.7	23.3	29.8	24.3	26.9	29.7	30.1	26.2	29.1	29.9	29.1	27.1	25.2	24.1	25.4	26.0	29.6	30.4	30.3	32.0	32.7	31.3	28.3			

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区A、処理区B、処理区D

パセリ:	平成25年 6月11日、6月18日、6月25日、7月 2日	イキケリン水和剤500倍・インプレッション水和剤500倍・トリフミン水和剤8000倍 トリフミン水和剤8000倍 アクリマイシン-100 1000倍・トリフミン水和剤8000倍
無栽培:	平成25年 8月22日	ソリール 30L/10a 全面点注
メロン:	平成25年 8月29日、9月13日、9月20日、10月 5日、10月11日、10月14日、10月21日、10月28日、11月4日、10月18日、10月21日、10月28日、11月4日、10月28日、11月4日	ベスタート粒剤2g/株 植穴処理 モレスタン水和剤3000倍・スピノース顆粒水和剤5000倍 モレスタン水和剤3000倍・アデイオン乳剤2000倍 トリフミン水和剤3000倍・ロフラル水和剤1000倍・ゴッツァ1000倍・コロマイト乳剤1000倍 リトミルMZ水和剤1000倍・アデイオン乳剤2000倍 ルビゲン水和剤10000倍・アミスター20フロアブル2000倍 ロフラル水和剤1000倍・モレスタン水和剤3000倍 アフロートエースフロアブル1000倍・セイバアフロアブル20 2000倍・ラリ水和剤6000倍 アファムエケセラ顆粒水和剤1000倍
こまつな:	平成25年11月22日、12月17日、12月24日	ネリエスK 3kg/10a全面散布 アファム乳剤2000倍・アクトラ顆粒水溶剤2000倍 アトマイヤーフロアブル4000倍・ストロビーフロアブル3000倍・トレホン乳剤2000倍
サラダ菜:	平成25年12月13日	ロフラル水和剤1000倍・モンカット水和剤1000倍
無栽培:	平成26年 4月 2日	ソリール 30L/10a 全面点注

別紙2. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区C、処理区E、処理区F

すいか： 平成25年 6月 7日 アトマイヤー1粒剤2g/株、植穴処理土壌混和
 6月13日 トリフミン水和剤3000倍
 6月19日 アファーム乳剤1000倍
 7月1日、7月8日、7月15日、7月22日、7月29日、8月5日 テーク水和剤600倍
 7月 3日 モレスタン水和剤4000倍・ベストガード水溶剤1000倍・粘着くん液剤100倍
 7月8日、7月15日、7月22日、7月29日、8月 5日 カスケード乳剤2000倍
 7月12日 モレスタン水和剤4000倍・マイトコネフロアブル1000倍
 7月15日、7月22日、7月29日、8月 5日 フェスティバルC水和剤1000倍・フリオコールドフロアブル800倍
 7月15日、7月22日、7月29日、8月5日、8月12日 アティオン乳剤2000倍・オリオン水和剤40 1000倍・トップシールド水和剤1500倍
 7月18日 スターマイトフロアブル2000倍・スピノセス顆粒水和剤5000倍
 7月22日、7月29日、8月 5日 スタークル顆粒水溶剤2000倍
 7月22日、7月29日、8月12日 テルスター水和剤1000倍・マネーシードF2000倍
 7月29日、8月5日、8月12日 アフェットフロアブル2000倍
 8月 2日 ベストガード水溶剤1000倍・モレスタン水和剤3000倍・粘着くん液剤100倍
 8月5日、8月12日 フレオフロアブル1000倍・タニケッターフロアブル2000倍・レーバースフロアブル2000倍
 8月12日 ヒラニカEW2000倍

無栽培： 平成25年 8月22日 テロン 20L/10a 全面点注

食用ほおずき： 平成25年 9月18日 サンマイトフロアブル1000倍
 10月11日 スターマイトフロアブル2000倍・スピノセス顆粒水和剤10000倍
 11月 6日 アグロスリン乳剤1000倍・ケッター水和剤1000倍
 11月13日 アファーム乳剤1000倍・サンマイトフロアブル1000倍・スミレックス水和剤1000倍
 11月19日 カンタストライフロアブル1000倍
 11月28日 ケッター水和剤1000倍
 12月 9日 スミレックス水和剤1000倍
 平成26年 1月 7日 サンマイトフロアブル1000倍・カンタストライフロアブル1000倍
 1月13日、1月20日、1月27日 コルト顆粒水和剤4000倍

無栽培： 平成26年 4月 2日 ソイリン 30L/10a 全面点注

別紙3. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

無処理区G

かぼちゃ:	平成25年	5月28日	ハチハチ乳剤2000倍・コッツA 500倍
		5月31日	アファーム乳剤2000倍
		6月5日	ベストガード®水溶剤1000倍・コッツA 500倍
		6月11日	ハチハチ乳剤2000倍
		6月17日	モレスタン水和剤2000倍
	7月1日, 7月8日,	7月15日	トレボン乳剤1000倍
		7月2日	トリフミン水和剤4000倍
		7月5日	サンマイトロアフル1000倍・モレスタン水和剤2000倍
		7月12日	モレスタン水和剤2000倍・アファーム乳剤2000倍
		7月22日	アファーム乳剤2000倍・サンマイトロアフル1000倍
無栽培:	平成25年	8月22日	テロン 20L/10a 全面点注
ペパーミント:	平成25年	10月29日	フェニックス顆粒水和剤2000倍・シマンタ®イセン水和剤800倍
		11月18日	アミスター-20フロアフル3000倍・アトマイヤー顆粒水和剤10000倍・トリフミン水和剤3000倍
	11月25日, 12月2日	12月2日	ガード®ヘイトA 3kg/10a
		11月26日	リゾレックス水和剤1000倍・スターナ水和剤2000倍
	12月24日, 平成26年1月7日, 1月16日, 1月22日		ロフラル水和剤1000倍・2000倍
みつば:	平成25年	10月29日	リゾレックス水和剤500倍
		12月12日	スターナ水和剤2000倍
		12月13日	ロフラル水和剤1000倍
		12月26日	トップシンM水和剤2000倍
		12月31日	ロフラル水和剤1000倍
	平成26年	1月17日	スミフレント®水和剤2000倍・アミスター-20フロアフル2000倍
	1月24日, 1月31日	1月31日	ダコニール1000 1000倍
		2月6日	ロフラル水和剤1000倍・モスビラン顆粒水溶剤8000倍
		2月18日	アトマイヤー顆粒水和剤10000倍
無栽培:	平成26年	4月2日	ソイリン 30L/10a 全面点注

写真1. 試験ハウス全景



写真2. 生育初期の試験区全景



写真3. 飛散防止遮蔽幕設置状況（処理区間）



写真4. 飛散防止遮蔽幕設置状況（無処理区間）



写真5. A区1回目散布時の繁茂状況



写真6. A区1回目散布時の果実の大きさ



写真7. A区2回目散布時の繁茂状況



写真8. A区2回目散布時の果実の大きさ



写真9. A区3回目散布時の繁茂状況



写真10. A区3回目散布時の果実の大きさ



写真11. A区4回目散布時の繁茂状況



写真12. A区4回目散布時の果実の大きさ



写真13. B区1回目散布時の繁茂状況



写真14. B区1回目の散布状況



写真15. B区2回目散布の繁茂状況



写真16. B区2回目散布時の繁茂状況



写真17. B区3回目散布時の繁茂状況



写真18. B区3回目散布時の株の状況（結実前）



写真19. B区4回目散布時の繁茂状況



写真20. B区4回目散布時の果実の大きさ



写真21. B区5回目散布時の繁茂状況



写真22. B区5回目散布時の果実の大きさ



写真23. B区6回目散布時の繁茂状況



写真24. B区6回目散布時の果実の大きさ



写真25. B区7回目散布時の繁茂状況



写真26. B区7回目散布時の果実の大きさ



写真27. C区1回目散布時の繁茂状況



写真28. C区2回目散布時の繁茂状況



写真29. C区3回目散布時の繁茂状況



写真30. C区4回目散布時の繁茂状況



写真31. C区4回目散布時の株の状況（結実前）



写真32. C区5回目散布時の繁茂状況



写真33. C区5回目散布時の果実の大きさ



写真34. C区6回目散布時の繁茂状況



写真35. C区6回目散布時の果実の大きさ



写真36. C区7回目散布時の繁茂状況



写真37. C区7回目散布時の果実の大きさ



写真38. D区1回目散布時の繁茂状況



写真39. D区1回目散布時の果実の大きさ



写真40. D区2回目散布時の繁茂状況



写真41. D区2回目散布時の果実の大きさ



写真42. D区3回目散布時の繁茂状況



写真43. D区3回目散布時の果実の大きさ



写真44. E区1回目散布時の繁茂状況



写真45. E区1回目散布時の果実の大きさ



写真46. E区2回目散布時の繁茂状況



写真47. E区2回目散布時の果実の大きさ



写真48. E区3回目散布時の繁茂状況



写真49. E区3回目散布時の果実の大きさ



写真50. F区1回目散布時の繁茂状況



写真51. F区1回目散布時の株の状況（結実前）



写真52. F区2回目散布時の繁茂状況



写真53. F区2回目散布時の果実の大きさ



写真54. F区3回目散布時の繁茂状況



写真55. F区3回目散布時の果実の大きさ



写真56. F区4回目散布時の繁茂状況



写真57. F区4回目散布時の果実の大きさ



写真58. F区5回目散布時の繁茂状況



写真59. F区5回目散布時の果実の大きさ



写真60. 採取状況



写真61. 採取直後の状況



写真62. 果実の破損防止対策

(左: ポリ袋に入れた状態、右: それをキャップで包んだ状態)



写真63. 試料をダンボール箱に入れた状態



写真64. A-1の大きさ



写真65. A-2の大きさ

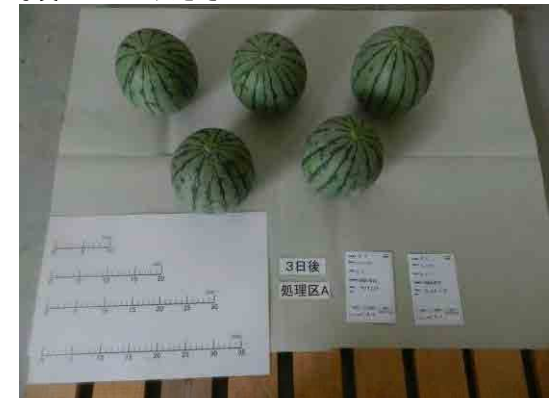


写真66. A-3の大きさ

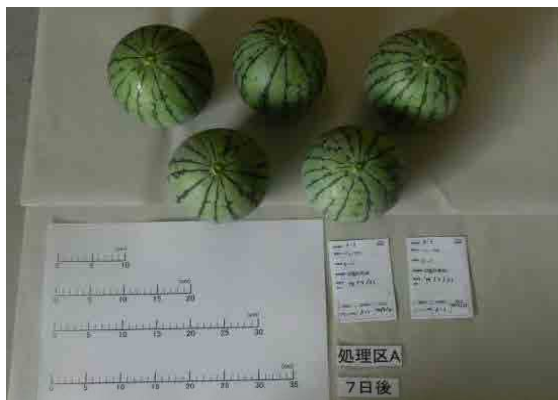


写真67. B-1の大きさ



写真68. B-2の大きさ



写真69. B-3の大きさ



写真70. Cの大きさ



写真71. D-1の大きさ



写真72. D-2の大きさ



写真73. D-3の大きさ



写真74. Eの大きさ



写真75. F-1の大きさ



写真76. F-2の大きさ



写真77. F-3の大きさ

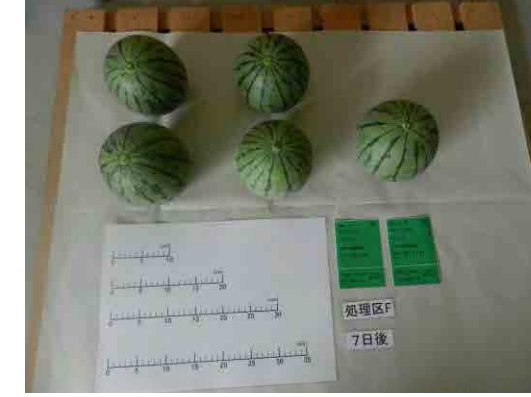


写真78. Gの大きさ

